

様々な子どもの読書活動の充実

福岡県 朝倉市立馬田小学校

基本データ

所在地	朝倉市馬田 1243 番地
児童生徒数	247 人
教職員数	18 人
蔵書数	約 10,000 冊
年間貸出冊数	約 46,400 冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導

【活動のねらい】

- 読書のよさを知り、日常的に読書に親しむ。
- 様々な読書に関する場を設定することで、本に親しむと共に読書の幅を広げ、自己の伸びを実感し、次なる学びへの意欲を高める。

取組・活動の概要

(1) 多様な読書活動

① お楽しみ読み聞かせ (第1金曜日)

- 教職員による読み聞かせ。児童は、事前にメニュー (題名・場所) を見て、聞きたいお話を聞くことができる。



教員による読み聞かせ

② 課題読書 (第2金曜日)

- 国語科教材と同一著者の本、郷土の偉人・民話など、学級全員が同じテーマで読書を行う。

③ お話玉手箱 (第3金曜日)

- 地域ボランティア「来夢文庫」による放送での読み聞かせ。
- 「来夢文庫」による読み聞かせ (年6回、学年ごとに昼休みに実施)

(2) 委員会活動の取組

① ビブリオバトル

- 10月の読書月間に合わせ、図書委員会がおすすめの本を3冊選定し、紹介するプレゼンを作成する。

- 全校朝会で図書委員会がビブリオバトル (おすすめ本の紹介) をする。
- 図書委員が各学級を回り、児童は読みたい本に投票し、チャンプ本を決め、放送あるいは、掲示板で発表する。
- 図書室で、ビブリオバトルで紹介した本を展示し、紹介する。



ビブリオバトル

② 読書郵便

- 10月の読書月間に、兄弟学級 (1・6年、2・5年、3・4年) で、おすすめの本の紹介を書いて図書室の郵便ポストに投函する。
- 図書委員が、兄弟学級の相手の児童に郵便を届ける。



読書郵便

③読書旬間（6月）・月間（10月）の取組

- 図書委員による読み聞かせ(朝の会、給食時間)
- 読書ビンゴ



図書委員による読み聞かせ

(3) 図書館環境の工夫

- ①“新”読書100冊達成児童の掲示（児童昇降口）
- ②月ごとにテーマ別おすすめの本コーナーの設置

(4) 授業における読書活動への接続

- ①関連図書による読書活動への接続
 - 国語(物語・説明的文章教材)、総合的な学習等の教科等の学習内容に関連した本を平行読書・関連読書として行う。
 - 担任からのリクエスト本を司書が、市の図書館等と連携して準備する。
 - 各教科の学習 → 平行・発展読書 → 紹介文・図鑑・報告書・劇化
- ②書く活動の日常化
 - 言葉ノートに国語の学習や読書で初めて知った言葉・いいなと思った表現、登場人物の台詞等を書き留め、自己の文章に生かす。

(5) 家庭との連携

- ①親子読書
 - 学級で2冊の本を回し、家庭で親子で読み合い、感想を書いて回す。

取組・活動の工夫や特徴

- 読書活動に対し、児童自身が目標を決め、それに対する様々な読書活動を仕組み、「馬田小認定活動」として、子どもの努力に対する評価を行う場を設定した。



馬田認定

取組・活動の成果や今後の展望

- 子供の実態を把握するため、アンケート等を定期的実施した。そのアンケート結果から、生活習慣・運動・学ぶ意欲の伸びや主体的に読書に関わる姿が把握できた。
- 児童の読む力、自尊感情を高める取り組みを行っていきたい。